

様式第1号  
受付印

土木建設課					土木管理課					協議書 公印	許可書 公印
課長	主幹・補佐	係長	主査	係	課長	主幹・補佐	係長	主査	係		

記入例

### 道路占用

許可申請  
協議書  
減免申請

※①

(番号)旭土管指令第 号  
平成 年 月 日  
令和 〇〇 年 〇 月 〇 日

押印不要です。

(宛先)道路管理者 旭川市長

申請者

〒 〇〇〇-〇〇〇〇  
住所 旭川市〇条通〇丁目

氏名 上川 一雄

(担当者・TEL・E-mail 090-..... asahi@\_\_.jp)

工事業者

〒 〇〇〇-〇〇〇〇  
住所 旭川市〇条通〇丁目

株式会社 旭川設備  
代表取締役社長 旭川 太郎

(担当者・TEL・E-mail 上川三郎 090-..... kamikawa@\_\_.jp)

次のとおり申請・協議します。  
1 道路占用(許可申請・協議)

占用の目的	家屋新築に伴う雨水排水管設置のため										
占用の場所	路線名	(No. )	区分	<input type="checkbox"/> 恒久舗装	<input type="checkbox"/> 簡易舗装	<input type="checkbox"/> 砂利	<input type="checkbox"/> 車道	<input type="checkbox"/> 歩道	<input type="checkbox"/> その他		
	場所	旭川市	6条通	11丁目	左・右	号	号	本・仲	通	番地	
占用物件	名称	規格				数量					
	雨水排水管	VUφ100×1.25m				1本					
占用の期間	令和 年 月 許可日から	日間	占用物件の構造	道路使用許可申請書 添付図面のとおり							
工事の期間	令和 年 月 許可日から	日間	工事実施の方法	道路法施行令第15条に基づき実施							
道路の復旧方法	原形のとおり復旧する			※③ 添付書類	<input type="checkbox"/> 位置図	<input checked="" type="checkbox"/> 平面図	<input type="checkbox"/> 断面図	<input type="checkbox"/> 求積図	<input type="checkbox"/> 交通安全対策図	<input checked="" type="checkbox"/> その他	※④ 確認通知書

※① 減免申請欄に○をつけてください。

※② 占用期間は5年先の年度末(3月31日)までです。なお、期間満了時に更新手続きがあります。

※③ 添付図面は各3部ずつ提出してください。  
・位置図 ・現況写真  
・平面図  
・断面図  
・確認通知書(※④)

※④ 水道局の雨水管、雨水樹等に接続する場合、水道局(サービス課)で交付される『排水設備工事確認通知書』のコピーを提出してください。

※⑤ 占用料減免申請の理由を記入してください。

その他 お手持ちのパソコンにて作成する場合は、申請書のほか、協議書(警察用)、申請書(写)、許可書の4枚が印刷されますので、一式提出してください。

許可年月日	令和 年 月 日	指令番号	旭土管指令第 号
調定番号	占用使用料算出基礎	占用料	円

### 2 占用料減免申請

協議番号

理由	雨水排水管設置のため※⑤		
上記の理由により旭川市道路占用料条例第6条第 号を適用して(免除・減額)する。			
減免金額	円	減免後の占用料	円

注)  内のみ記入してください。□欄はチェックしてください。

—— 線内は記入しないでください。

占用台帳入力	確認者	入力者

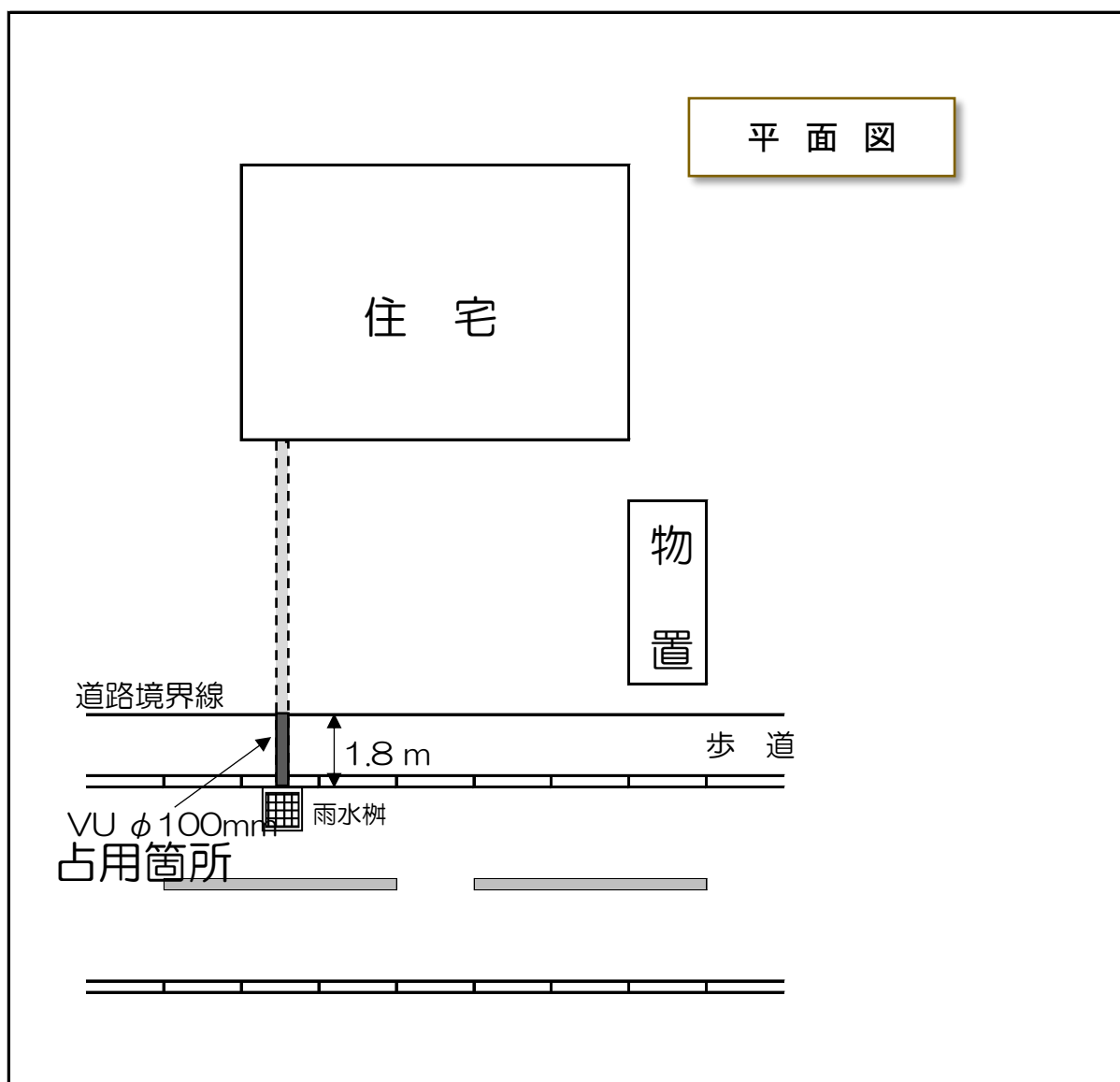
令和3年4月1日 更新

# 【 位 置 図 】

・ 占用箇所の住所、占用箇所の位置がわかるように作成してください



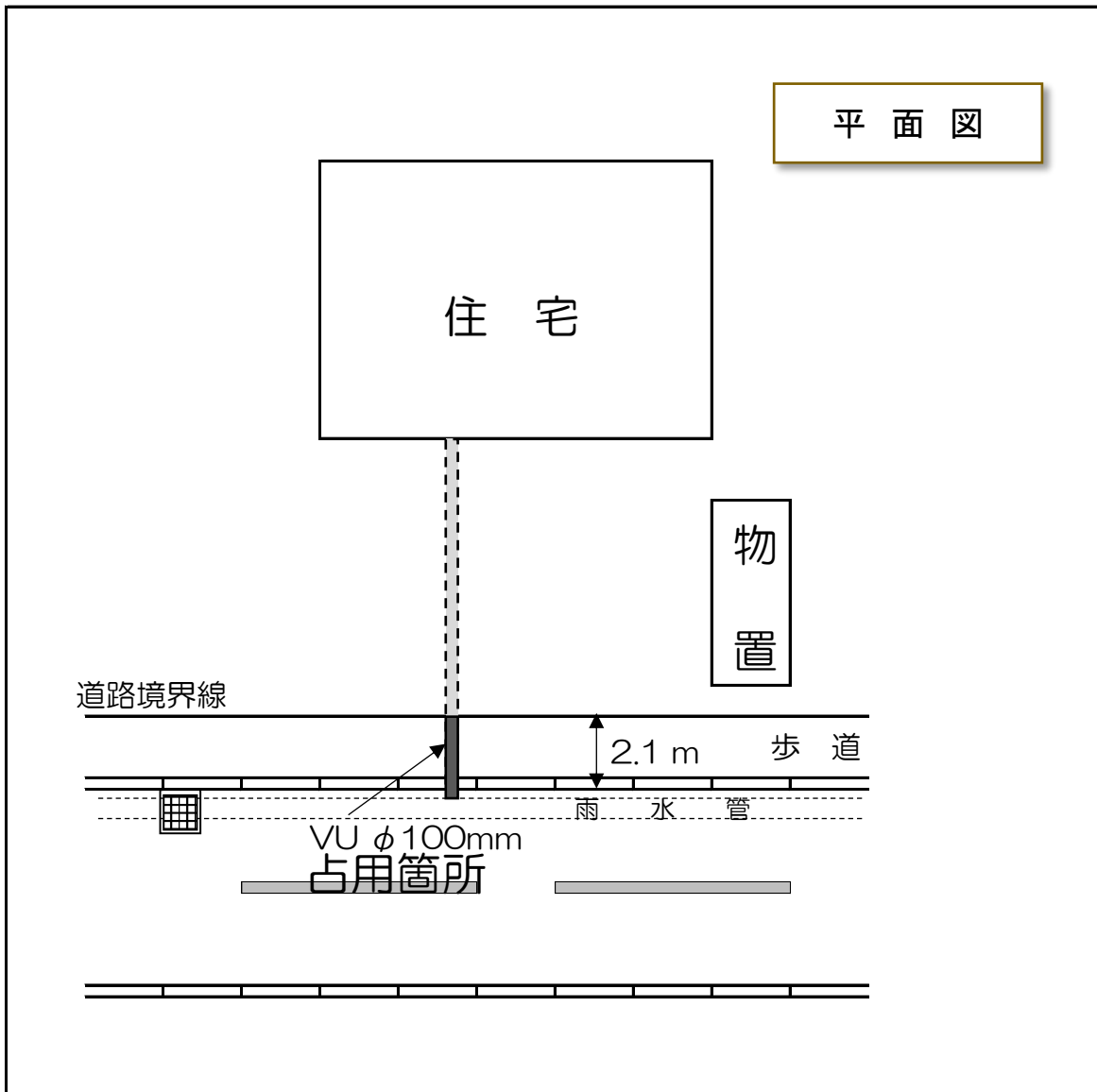
## 【パターン① 雨水桧に接続する場合】



### ＜申請にあたっての留意点＞

- できるだけ市道内での接続距離及び路面の掘削面積が小さくなるような施工を心がけてください。
- 接続先や復旧路盤等について特殊な事情や問題のある場合は、事前に御相談ください。

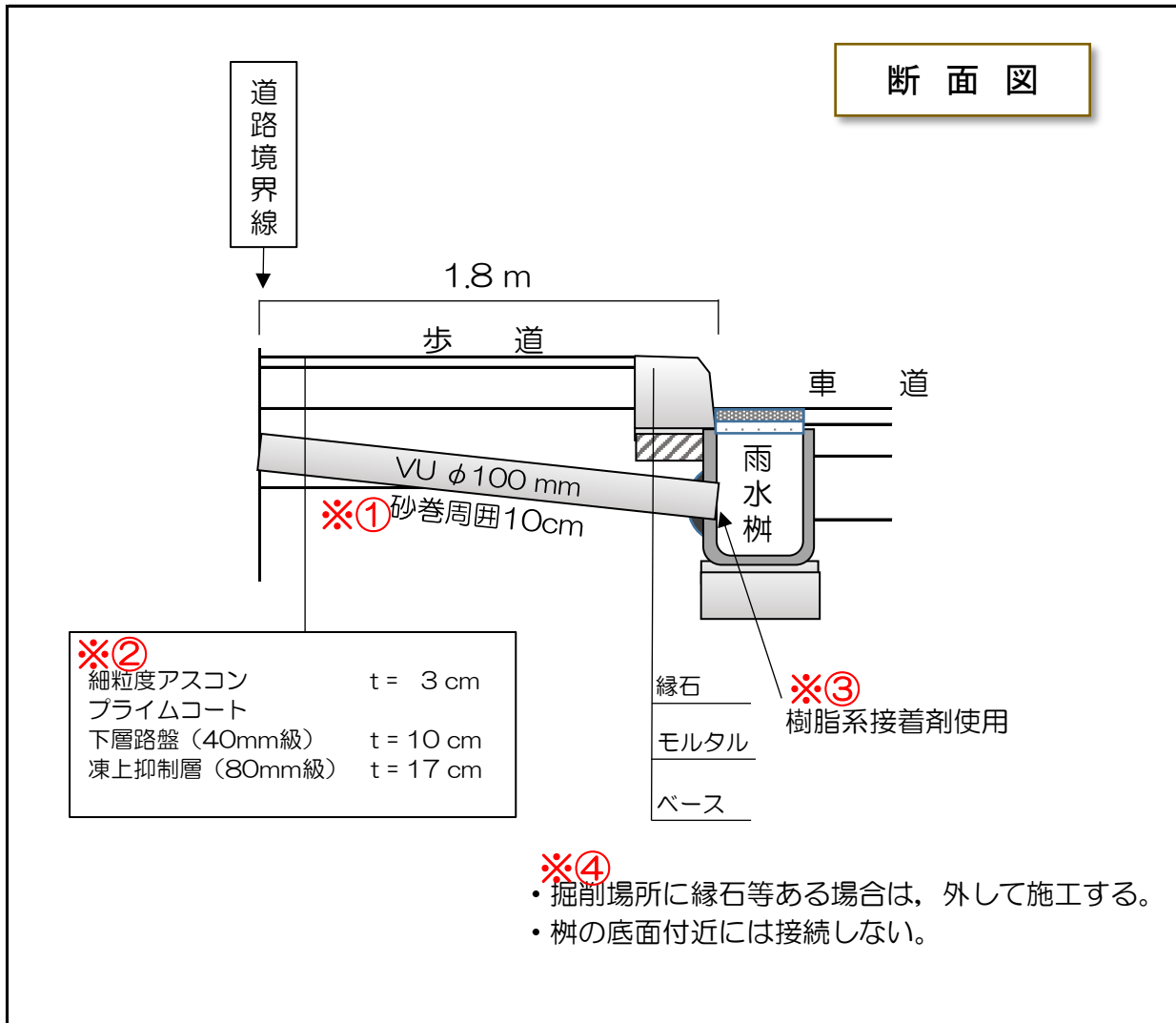
## 【パターン② 雨水管に接続する場合】



### ＜申請にあたっての留意点＞

- できるだけ市道内での接続距離及び路面の掘削面積が小さくなるような施工を心がけてください。
- 接続先や復旧路盤等について特殊な事情や問題のある場合は、事前に御相談ください。

## 【パターン①】 雨水桧に接続する場合



### ＜申請にあたっての留意点＞

※① 塩ビ管等を使用する際、管の破損を防ぐため、周囲10cm程度砂巻きをしてください。その旨図面内に記載してください。

※② 路面の復旧構造を記載してください。

原則、道路は現況に従って復旧してください。

路盤とアスファルト間には、全面プライムコートを散布してください。

※③ 樹脂系接着剤にて接続をしてください。

※④ 接続場所に縁石等ある場合は外して施工し、えぐり堀（たぬき堀）はしないでください。

縁石を復旧する際は、図面にも復旧構造（縁石、モルタル、ベース）の記載をしてください。

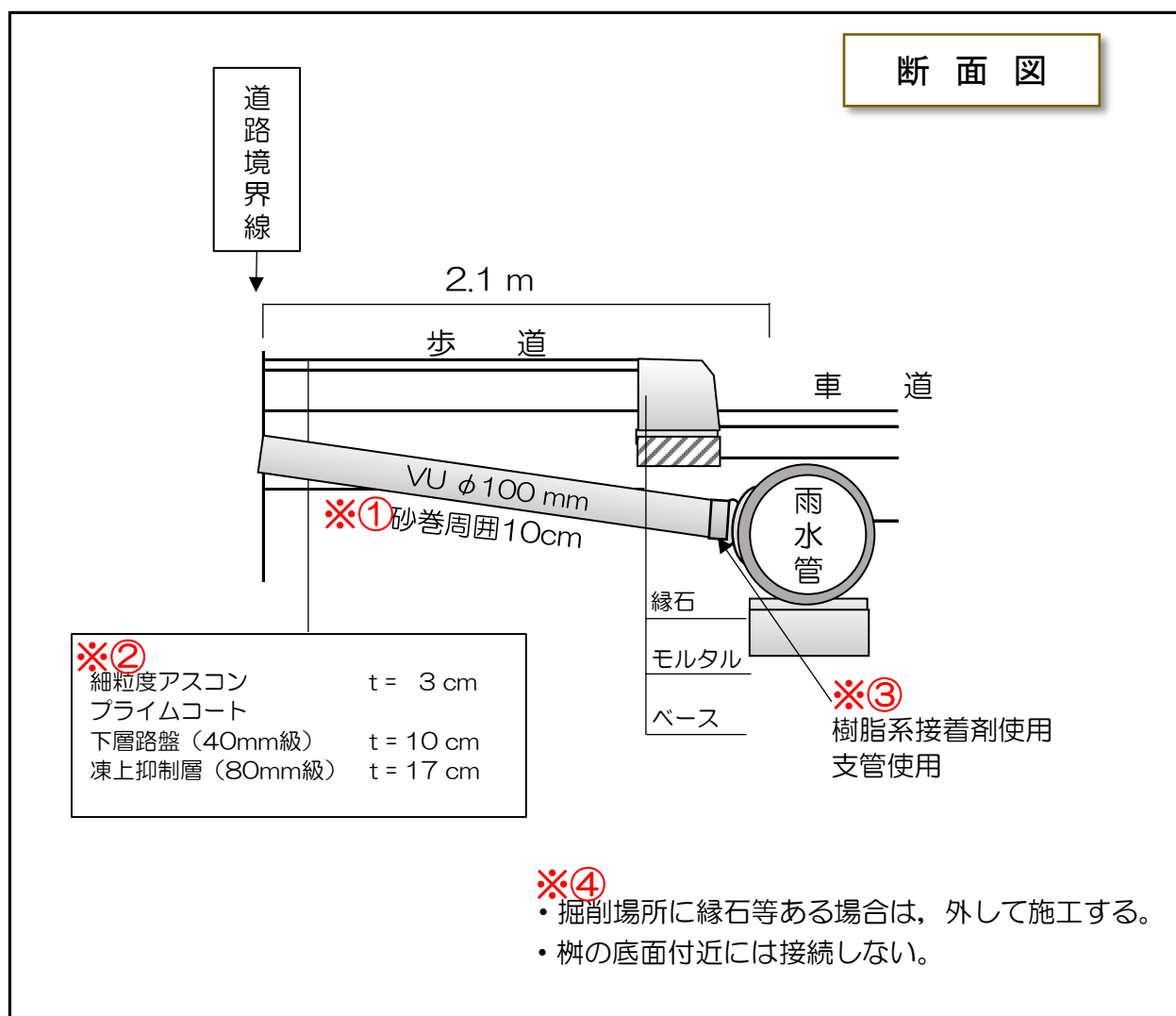
凍上の恐れ等あるため、桧の底面に管を接続しないでください。

上記事項について理解した旨、図面内に記入をお願いします。

その他 管径が150mm以上のものを桧等に接続する場合、排水施設への影響を確認するため、流量計算等資料の提出を求めることがあります。

特殊な事情や確認したいこと等ある場合は、事前に御相談ください。

## 【パターン② 雨水管に接続する場合】



### ＜申請にあたっての留意点＞

- ※① 塩ビ管等を使用する際、管の破損を防ぐため、周囲10cm程度砂巻きをしてください。  
その旨図面内に記載してください。
- ※② 路面の復旧構造を記載してください。  
原則、道路は現況に従って復旧してください。  
路盤とアスファルト間には、全面プライムコートを散布してください。
- ※③ 樹脂系接着剤にて接続をしてください。  
φ100以上の管を接続する場合は、支管を使用してください。
- ※④ 接続場所に縁石等ある場合は外して施工し、えぐり堀（ためき堀）はしないでください。  
縁石を復旧する際は、図面にも復旧構造（縁石、モルタル、ベース）の記載をしてください。  
凍上の恐れ等あるため、雨水管の底面に管を接続しないでください。  
上記事項について理解した旨、図面内に記入をお願いします。

その他 管径が150mm以上のものを樹等に接続する場合、排水施設への影響を確認するため、流量計算等資料の提出を求められることがあります。

特殊な事情や確認したいこと等ある場合は、事前に御相談ください。